

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201051

政策目標	3	のひやか・雄武	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	C		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武中学校施設改修調査事業		見直し年度			
事業期間	平成24年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	11	町有施設整備室	
事業指標	調査学校数		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	1校		関係例規・法令名	⇒		
住民参加 住民協働	2		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武中学校大規模施設改修に伴う調査実施					調査実施
	事業費(千円)	0	0	0	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他 一般財源	0 0				0
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他 一般財源	0 0 0				0
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				1校
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	事業進捗状況				☆☆☆	

事業名	雄武中学校施設改修調査事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武中学校校舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設状況確認学校数								
【抱える課題やニーズは】	学校施設の経年からなる校舎及び体育館の老朽箇所に対し、現状を把握し、今後に向けた改修内容を整理する必要があります。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	雄武中学校校舎の適正な整備	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1校舎</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1校舎</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1校舎	実績値	1校舎	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1校舎										
実績値	1校舎										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	雄武中学校校舎を使用する生徒並びに教職員等が安心して学べる学校環境の整備を推進する。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	学校管理職、工事担当課との現状確認により、雄武中学校校舎の施設点検を実施しています。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	中学校校舎の経年に伴う施設状況を把握するための調査であり、施設設置者である町が担うものであると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	雄武中学校における現況及び改修を要する時期等が把握できたと判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	ゼロ予算事業であり、予算支出は伴わないものであります。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

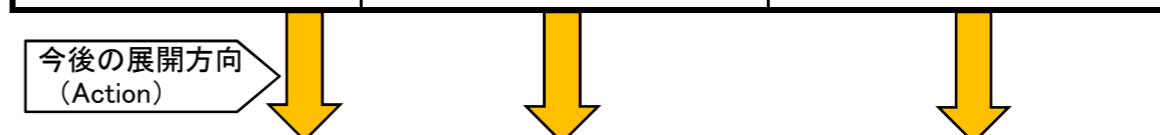
公平	判断の理由	安心して学べる学校施設の状況を把握するための現状把握及び改修時期等の事業内容を整理するための調査であり、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
雄武中学校校舎及び体育館の現況及び改修を要する箇所、時期等の把握ができたことから、計画どおり事業が進んでいます。	同左	



終了	終了	
雄武中学校校舎及び体育館の現況及び改修を要する箇所、時期等を把握ができたことから、調査事業は終了するものであります。	同左	

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止